

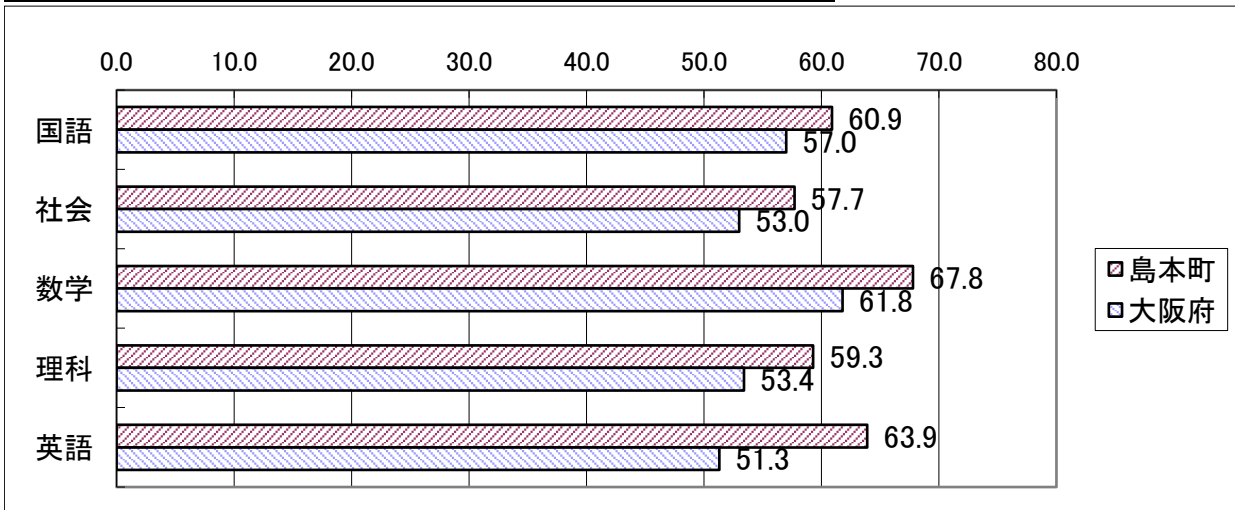
平成30年度 大阪府中学生チャレンジテスト結果概要<2年生-①>

島本町教育委員会

1. 実施日時:平成31年1月10日(木)
2. 対象・内容:第2学年<国語・社会・数学・理科・英語、各教科アンケート>

1. 教科別結果概要(平均点)

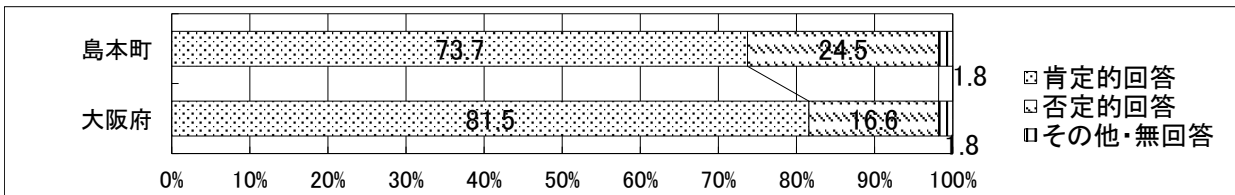
	国語	社会	数学	理科	英語
島本町	60.9	57.7	67.8	59.3	63.9
大阪府	57.0	53.0	61.8	53.4	51.3



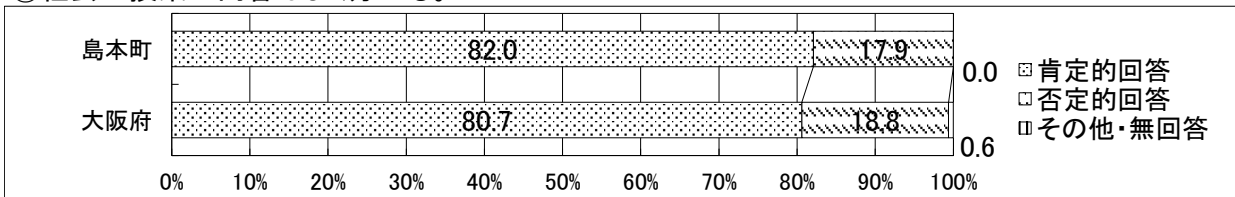
※社会・理科は選択問題で実施

2. アンケート(抜粋)

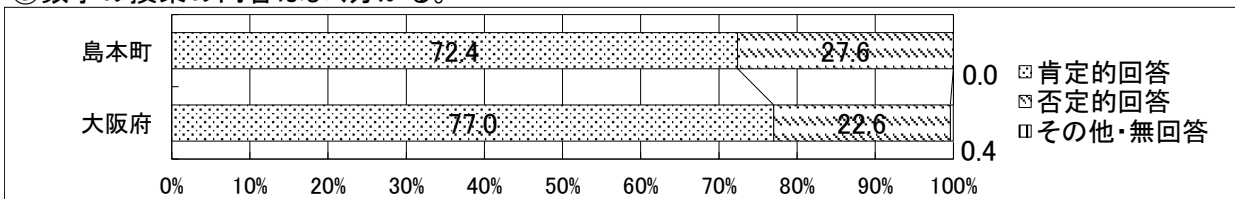
①国語の授業の内容はよく分かる。



②社会の授業の内容はよく分かる。

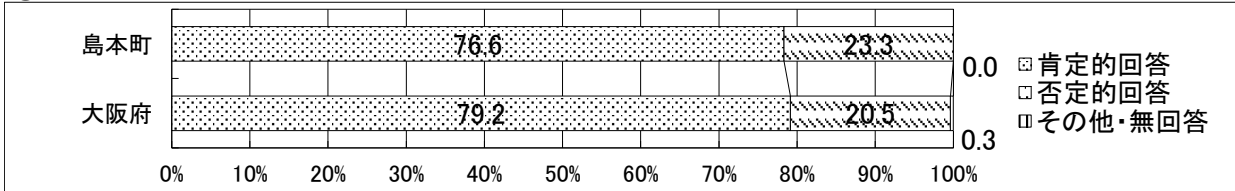


③数学の授業の内容はよく分かる。

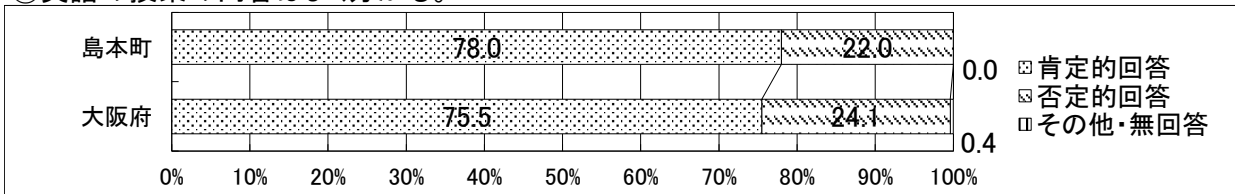


平成30年度 大阪府中学生チャレンジテスト結果概要<2年生-②>

④理科の授業の内容はよく分かる。



⑤英語の授業の内容はよく分かる。



3. 分析等

- ・ 教科別学習状況については、いずれも府の平均正答率を上回った。特に英語は、府の平均を12.6ポイントも上回っており、特例校としての成果が出ている。また、中学2年生から、英検の受験者数が大幅に増加することからも、英語に対する関心や意欲の高さがうかがえる。
 - ・ 社会科では、第一中学校も第二中学校も今年度、NIE(新聞教育)実践指定校だったこともあり、資料を読み解き、仲間と議論を行う授業を随時取り入れた。その結果、「目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている。」というアンケート項目では82%の生徒が肯定的な回答をしている。このことが、5教科の中では「授業がよく分かる」が唯一80%を超える結果につながっている。
- これらのこと等を踏まえ、指導内容と学習評価、生徒の学習意欲等、複合的な観点から今後も授業改善を推進していきたいと考える。